

## お母さんのトラブル

切迫早産などを含めると、**妊娠・出産による合併症は全妊産婦の50%以上に発生する**と言われています。  
それだけ多くのトラブルが起こりやすい、妊娠・出産。  
ここでは**重篤化すると危険なお母さんに起こるトラブル**を紹介します。

### 羊水塞栓症

#### どんな病気？

羊水塞栓症は、赤ちゃんを守っている羊水が母体の血中に流入することで起こり、発症すると急激に症状が悪化することから妊産婦さんの死亡につながる危険な病気です。  
発症の頻度は、約2万〜3万分娩に1例といわれています。

#### なぜ起きるの？

分娩中の破水や、帝王切開などがきっかけで、母体の血中に、羊水に含まれる胎児成分（胎脂、皮膚、胎便など）が混入することで、アナフィラキシー様反応が起こり、心臓や肺の臓器障害を引き起こすと考えられています。

#### どんな症状？

羊水塞栓症は、呼吸不全や心不全などを呈する①心肺虚脱型と、性器からの大量出血から始まる②子宮型に分類されます。  
また、原因不明の胎児機能不全に羊水塞栓症が隠れている場合もあります。  
①心肺虚脱型羊水塞栓症  
呼吸が苦しい、血圧が下がる、意識がなくなるなどの症状から、30分程度の短時間で心停止に至ることがあります。  
②子宮型羊水塞栓症  
胎盤が出た後や、帝王切開時のサラサラとした性器出血から始まります。  
重症の強硬出血を合併していることが多く、体内で出血をコントロールできなくなるDICの状態に陥ると母体の命にかかわります。

#### どんな人に起こりやすいの？

妊娠経過に問題のなかった妊婦さんでも起こります。  
次のような場合には、リスクが高くなるといわれています。  
・帝王切開  
・吸引、鉗子分娩  
・妊娠高血圧症候群  
・低置胎盤、前置胎盤

#### どんな治療をするの？

まず、診断基準に沿って臨床的に診断し、早期に治療を開始することが望まれます。  
「臨床的羊水塞栓症の診断基準」  
1. 妊娠中または分娩後12時間以内に発症した場合  
2. 下記に示した症状・疾患（1つまたはそれ以上でも可）に対して集中的な医学治療が行われた場合  
A 心停止  
B 分娩後2時間以内の原因不明の大量出血1500ml以上  
C 播種性血管内凝固症候群  
D 呼吸不全  
3. 観察された所見や症状が他の疾患で説明できない場合  
以上の3つにあてはまる場合、臨床的羊水塞栓症と診断し、すぐさま治療が開始されます。

#### 「治療方法」

低酸素血症や低血圧、心停止やDICなど、各症状に対する治療が行われます。マンパワーを集めること、高次医療機関への搬送も並行して行われます。例えば、低酸素に対しては酸素マスクによる高濃度酸素の投与や人工呼吸、心停止に対しては心臓蘇生が行われます。子宮型羊水塞栓症の場合は、DICへの早期対応により救命率の上昇が期待できます。

新生児仮死 >

新生児低酸素性  
虚血性脳症 >

胎児機能不全 >  
NRFS:Non Reassuring Fetal Status

胎児発育不全 >  
FGR:Fetal Growth Restriction

帽状腱膜下血腫 >

頭血腫 >

胎便吸引症候群 >

新生児黄疸 >

低出生体重児 >

新生児ヘルペス >

新生児呼吸窘迫  
症候群 >

新生児低血糖症 >



弁護士法人常永愛法律事務所  
**産科医療LABO** 医療過誤 医療事故  
弁護士法人常永愛法律事務所  
〒569-0803 大阪府高槻市高槻町11番20号  
第2築家ビル401号  
tel.072-682-6233

- 産科医療LABOについて
  - > 産科医療LABOについて
  - > ご挨拶・弁護士紹介
  - > 事務所概要
  - > 医療期間
- 産科医療補償制度とは
- 原因分析報告書とは
- 闘性まひとは
- 妊娠・出産のトラブル
- 相談の流れ・費用
  - > 相談から解決までの流れ
  - > 費用
  - > Q&A
- 解決事例
- 判例
- コラム
- 弁護士向けサポート
  - サイトマップ
  - プライバシーポリシー

相談のお申し込み >

